事例No.	840
公表年度	R1
団体の属性	一般市
団体名	長野県小諸市

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・福祉・介護

事例種類	立地適正化事業

事例内容・タイトル

地域医療体制整備事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き

立地適正化事業 ②

長野県小諸市（人口4.2万人）「地域医療体制整備事業」

事業の概要

※国庫補助事業に伴って実施する継ぎ足し単独事業

郊外に位置する老朽化の進んだ総合病院を、市庁舎・図書館等とともに市庁舎敷地一帯に再構築することで都市機能の集約化を図り、利便性の高いまちづくりを実現

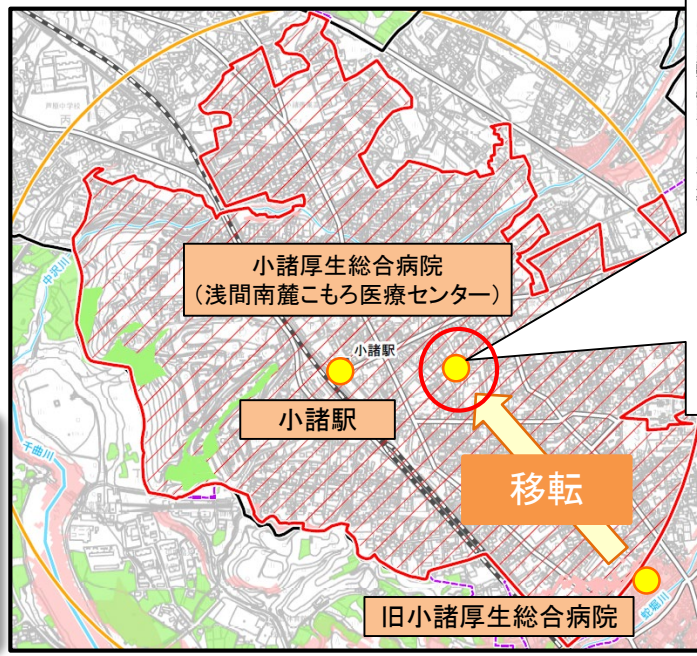
事業のポイント

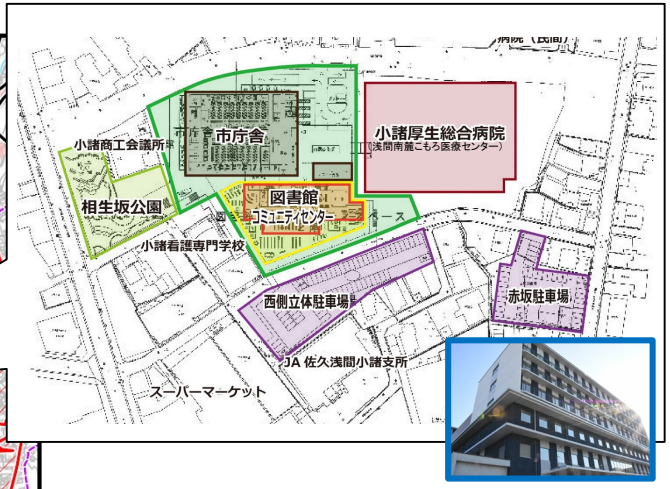
旧小諸厚生総合病院



老朽化

都市機能の集約化





【課題】
- 人口の減少による中心市街地における郊外化や空洞化
- 公共施設における老朽化や未耐震化
- 自家用車の利用により排出される二酸化炭素

◎小諸市立地適正化計画（平成29年3月策定）
- 市庁舎敷地一帯を様々な都市機能が集積した賑わいのある拠点として位置づけ。
- 病院の整備に先立ち、平成25年度に商工会議所、平成27年度に市立図書館を整備。

事業の効果

○ 都市機能の集約化が図られることで、一度の外出で用事の済む利便性の高いまちづくりが実現される。
○ 二次救急を担う総合病院の再整備により、地域住民が必要とする診療を維持し、安全・安心なまちづくりが実現される。
○ 市庁舎等、施設間でのエネルギーの相互利用を行うことができる。